

# 環境教育「まず、今できることから」 歴史に学ぶ

発行所：地域環境活性化協議会  
編集者：代表幹事 高橋賢一  
連絡先：市民活動支援センター  
尾張旭市栄川町三丁目5番地7  
(栄川福祉センター内)  
TEL0561-51-2878

井田八幡神社の陶製狛犬は、銘文に紀年がある。昭和5年（1930年）のもの、弘化三年（1846年）のもの、銘文の無いもの三対がある。銘文の無いものは、瀬戸や深川神社所蔵の重要文化財指定狛犬に酷似しています。江戸時代後期に模倣品の数多く作られていますので、これも同時代のものと推察されています。

## 尾張旭市の 文化財めぐり

### 井田八幡神社の狛犬

平成24年10月6日（土）  
午前九時～分まで  
陶製狛犬を見学



▲文化財の狛犬を観る小学生。自分の町の文化財をみることによって歴史を学ぶ習慣がD.C.で観る。ハルルの世界とは違う。新しい発見だと思おう。今世界の若者は中真ヨロバ、米國は勿論東南アジアでも日本の古典文学に興味を持つ人も人達は今増えている。それはなぜか？真剣に神社の担当者に説明を聞く子供達と保護者。

買数3対  
種別有形文化財  
(工芸品)  
指定年月日  
昭和58年3月7日  
所在の場所  
井田町三丁目2-8  
所有者 八幡神社



これが本物の石の  
神社公認のマネーを学ぶ子供達よ



▲はじめての神社まわりをマネー学が子供達。



▶2対の狛犬、人間と一緒です。いきなり左側とまた腹が面白いです。右側怒っています。  
◀3対の狛犬、生きたように見えた。たなごの意。

